ともしび保育園

2021 年4月1日　発行

新しい年度を迎えるにあたって

麗らかな春の陽差しの中、15 名の新入園児を迎えて新しい年度がいよいよスタートしました。今年は桜の開花が例年より早く、すでに葉桜になりつつありますが、緑とピンクの美しいコントラストが子どもたちの新たな門出を彩ってくれています。

☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆

昨年度は一年を通して新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事やプログラム、生活の様式に至るまで、多くのことについて内容の変更や中止をさせていただくことになりました。在園の皆様のご協力により無事新年度を迎えることができましたことを、心から感謝いたします。

東京都の緊急事態宣言は解除になりましたが、リバウンドが懸念されておりますので、園では引き続き、感染防止に注力していきたいと思います。保護者の皆様におかれましてはご理解ご了承いただきますよう、何卒よろしくお願いいたします。

☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆

ともしび保育園では約 70 年前からずっとキリスト教保育を行っていますが、初めて当園にお子さんをお預けになる保護者の皆様にとっては、なかなか馴染みのないものかもしれません。

キリスト教では、命は神様が私たち人間に授けてくださったもの、という考え方をします。神様が私たちを愛してくださっているように、神様から大切な命を授かっている自分や周りの人たちを愛し、大切にする人になってほしい、そんな祈りを込めて行う保育がキリスト教保育だと考えています。

子どもたちは、神様、保育者、保護者など、たくさんの存在から愛されていると感じることで、自分を好きになり、自信を持てるようになります。そしてそれが、その後の人生で困難なことにぶつかった時に、それを乗り越えるための原動力になります。私たちは、そんなこれからの成長にとって大切な時期に子どもたちと関わることができることに、大きな責任と喜びを感じながら保育をしています。

一年間どうぞよろしくお願いいたします。

園長　山田 英